

(工場・施設版環境 ISO)

株式会社金沢ヨコイ部品 環境行動計画

令和 2 年 9 月 5 日

株式会社金沢ヨコイ部品は、全国で年間約 320 万台発生する使用済み自動車から再びクルマ
社会で活躍するリサイクル部品を生産・供給し、CO₂ 排出削減、エネルギー抑制、再資源化促
進など、地球環境にやさしい事業に取り組んでいます。

さらなる環境への負荷を少なくするために 以下の取り組みを社員一丸となって推進
します。

- ① 事業活動中での少エネルギーと省資源（節水 節電）
- ② リユース部品を発送する場合 再利用できる段ボール箱があれば優先的に再利用する。
- ③ 工場及び倉庫内の 照明は 使用していない場所についてはこまめに消す。
- ④ 5S（整理 整頓 清掃 清潔 躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人一人が自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と
取組目標及び具体的な取組内容を周知します。

令和 2 年 9 月 5 日

株式会社金沢ヨコイ部品

代表取締役社長 横井 真津乃

□ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標-1	二酸化炭素の排出量(売上高当たり)を、令和 2 年を基準として令和 4 年までに 190(kg-CO2/百万円)に削減する。
具体的な取組	<p>(事務所での取り組み)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 室温の管理を徹底する (夏場 28℃ 冬場 20℃) ② 場所や季節に合わせて適切な照明管理を行う ③ 空調機器を定期的に点検する ④ 長時間席を離れるときは、OA 機器の電源を切るかスタンバイモードにする ⑤ 専門家による省エネ診断を受診する

目標-2	下記取組により廃棄物の排出量の削減に努める。
具体的な取組	<p>(事務所での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 廃棄物は、決められたごみ箱(可燃ごみ、不燃ごみ、コピー用紙、パンフレット、封筒、廃プラスチック)に分別して出す ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する <p>(商品の仕入れ・販売に関する取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 仕入れ・納入にはできるだけ通い箱を使用する ⑤ 使用済み段ボール、梱包材、荷造りひもを分別する ⑥ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧盤を引き取ってもらう

目標-3	水の使用量(売上高当たり)を、令和2年(1m ³ /百万円)を基準として令和4年までに0.97m ³ /百万円に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 従業員に節水を心がけるよう啓発する。 ② 生産工程での水利用について効率的な利用に取り組む。 ③ 水道配管からの漏水を定期的に点検する

目標-4	社内の取組体制構築、環境保全に関する地域社会への貢献活動推進
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ① 環境関連のセミナーに参加する ② 毎週、担当者が社内をパトロールして取組状況を確認する ③ 消費者に向けて環境に関する情報提供や啓発活動を行う ④ 毎月、会社周辺の歩道を清掃する ⑤ 会社の敷地内の緑化を行う

■環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、総務課長(環境管理責任者)を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。